学校図書館支援センターだより

2025.3.14
第 152 号

松陽小学校の取組

図書委員会で児童を中心に実施した企画と、読書の日のブックトークカードの取組、授業での取組について紹介します。

①図書委員会企画「委員会児童による読み聞かせ」

松陽小学校の図書委員会では、学期ごとに１～２回、児童が考えた読書に親しむための企画を実施しています。２学期は、読書週間の時期に合わせて、委員会による全クラスへの読み聞かせを行いました。終了後は図書館前の廊下に、読み聞かせの本と委員会児童のおすすめ本をポップとともに「図書委員のおすすめ」として展示しました。コーナーを見た児童の中には、読んでもらった本を手に取る姿が見られました。

他にも、図書館の本から出題するクイズを解きながら校内を回るクイズラリーや、本バッグを利用したアンケート形式の本の福袋など、来館のきっかけや本の紹介につながる企画に取り組んでいます。企画のポスターやプレゼントは、児童がタブレット端末を利用して作ることも増えてきました。手書きで作りたい児童もいるため、準備のときには併用することもあります。

②ブックトークカード

毎月 23 日の読書の日に合わせて、２～６年生に配付しているカードです。読んだ本の中から１冊を選んでこのカードを書き、次の朝学習のときにクラス内で交流をします。交流が終わった後は、「よむゾウファイル」に貼って保管することで、読書記録を積み重ねていきます。

③本を使った五行詩作り

５年生の国語の授業で実施しました。白学研の研修で取り組んだ五行詩作りを参考に、班に分かれてそれぞれ５冊の本を選び、題名を組み合わせて詩を作りました。最後には各班で発表をし、投票のかたちで「〇〇だったで賞」を選んで交流も行いました。SKYMENU を利用して、作った詩をタブレット上で写真とともに見られるようにしていたため、詩の読み比べや投票もやりやすくなりました。司書は本選びの際の声掛けや、最後に特別賞を選ぶというかたちで関わりました。分類の掲示を見て「文章になる題名は文学に多そう」と考えて本を選ぶ児童や、季節に合わせた題名の本を探す児童など、普段と違う視点で書架を見たり、授業の後に使用した本を借りたりする姿が見られました。

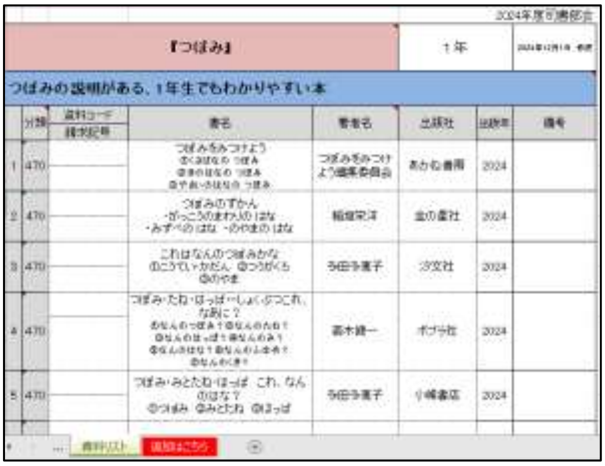
このほかにも、毎月のお話給食に合わせた放送と給食クイズの実施、学期初めの先生による読み聞かせ、季節に合わせた資料の展示など、本に触れられる機会づくりに取り組んでいます。

【司書部会】今年度の司書部会グループ研究報告

小学校部会　実践報告

国語の関連読書で使用できるブックリストの作成

教科書の改訂に伴い新しく追加された教材や単元のねらいが変わったものを中心にブックリストの作成を行いました。



新旧の教科書でどのようにねらいが変わったかを一目で比較できるよう「新旧比較書」も作成しました。作成したブックリストを活用し、関連読書や味見読書を行った学校もあります。今後も活用しながらアップデートしていく予定です。

中学校部会　実践報告

①　横断検索リーフレット作成

市立図書館とのシステム統合が行われ、児童生徒が使用しているタブレットで市内小中学校、市立図書館の蔵書を検索できるようになりましたので、説明用リーフレットを作成しました。

タブレットで図書館の本を探せます！

②　図書館アンケート実施（2月以降に1,2年生を対象）

白山市の中学生の読書や情報の取り扱いについて、下記の項目で生徒へアンケートを実施し、今後の図書館教育計画に役立てます。

	カテゴリ	アンケート項目
1	読書	朝読書以外に普段どのくらい読書をしますか。（電子書籍の読書も含みます。）
2	読書	読書のいいところは何だと思いますか。(記述)
3	図書館	どんな学校図書館ならもっと利用したいと思いますか。(記述)
4	読書	スマホやタブレットを使って電子書籍の読書をすることがありますか。
5	情報	電子書籍を読んだことがある人へ。紙の本が、電子書籍に比べてよりあてはまると思うのは、次のどれですか。
6	情報	本やインターネットで調べてレポート作成するとき、使った資料を明記していますか。
7	読書	読む本をどのようにして選んでいますか。
8	読書	朝読書をしてよかったと思うことは何ですか。(記述)

中学校部会では、高校入試問題出典データベース、図書館イベントの情報の更新も行いました。

今年度、図書システムの更新があったため、小中学校部会合同で図書システムマニュアルの作成も行いました。